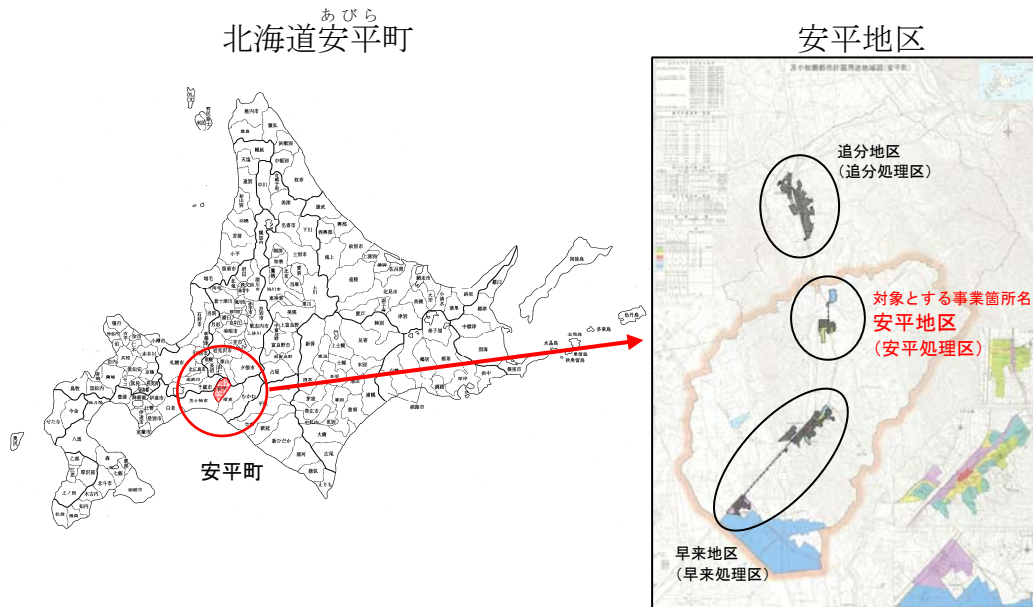


下水道クイックプロジェクト 社会実験計画書

1 対象とする事業箇所名、地区名

本町の下水道計画区域は^{はやきた}早来処理区及び^{おいわけ}追分処理区からなる。本社会実験において、工場製作型極小規模処理施設を導入することにより、早来処理区のうち安平地区を新たに安平処理区として設定した。



2 当該地区における汚水処理施設整備の現状

本町は、平成 18 年 3 月 27 日に旧早来町と旧追分町が合併して誕生した。下水道事業は、旧早来町（現早来処理区）では平成 6 年度に着手し、平成 16 年度には早来浄化センターが供用開始され、下水処理人口普及率は平成 21 年度末で 46%となっている。旧追分町（現追分処理区）では平成 8 年度に着手し、平成 14 年度には追分浄化センターが供用開始され、下水処理人口普及率は平成 21 年度末で 63%となっている。

3 当該地区に係る近年及び将来の人口動向

安平町の人口は近年減少傾向を示しており、平成 28 年度には数学的推計値（コーホート要因法）8,455 人と想定されている。安平町の平成 28 年度将来行政人口は、数学的推計値 8,455 人に施策人口 645 人を加えた 9,100 人と総合計画にて設定されている。以下に、安平町、現早来処理区、安平地区の人口推移を示す。

年度	安平町	早来処理区	安平地区	備考
平成16	9,470	4,028	435	実績
平成17	9,316	3,971	434	実績
平成18	9,268	3,905	425	実績
平成19	9,187	3,905	425	実績
平成20	9,116	3,828	399	実績
平成28	9,100	4,290	400	

4 当該地区において、社会実験を導入するに至った背景

早来処理区は3地区に分かれ、北から安平地区、早来地区、遠浅地区と、国道沿いに連なっている。3地区の区間距離は、北から安平～早来が約4km、早来～早来浄化センターが約0.6km、早来浄化センター～遠浅が約3.3kmである。

地区別の段階整備計画においては、中心市街地である早来地区から整備を始め、つづいて遠浅地区、それら2地区の整備完了後に安平地区の整備を行う計画であった。

安平地区において、下水道整備の要望が高まっているところであるが、早来処理区へ污水管を接続するには町財政面からもさらに長期間を要するため、早期に供用開始を目指せるコスト縮減効果が高い整備手法として工場製作型極小規模処理施設を導入し、安平地区を処理区として分割する計画に見直すこととした。

5 社会実験の対象とする整備手法と社会実験の実施箇所

- ・ 社会実験の対象とする整備手法
工場製作型極小規模処理施設（接触酸化型）
- ・ 社会実験の実施箇所
安平処理区 面積 81.3ha
計画汚水量 209m³/d
下水処理場 70m³/d×3系列



6 新たな整備手法の導入により期待される効果

処理施設が低コストで建設工期も短いため、早期に供用開始が可能となる。また、流量増加に応じた段階的な整備が可能となる。

7 社会実験の実施にあたり導入する予定の住民参画方策

- ・ 早期整備のための協力の要請などの住民とのコミュニケーション活動
- ・ 普及を促進させるための、町内会によるPR活動

8 性能等の検証内容及び検証方法（案）

（1）ユニット化による工事コストの縮減効果と工期の短縮効果

検証項目	検証の目的	検証方法	検証結果の利用方法	備考
コスト及び工期の短縮効果	施工工法によるコスト及び工期の短縮効果を確認する	従来工法（仮想設計）と採用工法のコスト及び工期短縮効果を確認する	計画・設計時の工法選定の一資料とする	

（2）管理性の状況

検証項目	検証の目的	検証方法	検証結果の利用方法	備考
運転管理・維持管理等	処理方式による運転管理、維持管理コスト、運転管理上の不具合の発生状況を確認する	従来处理方法と採用処理方法の維持管理軽減効果を確認する	処理方法を決定する際の資料とする	
住民参画による管理軽減	管理への住民参画の可能性・効果を確認する	住民参画型維持管理ルール（異常発生時の連絡方法など）による管理を実施し、住民の参画状況や協力度を確認する	管理分担や管理方法を決定する際の資料とする	

(3) 性能評価

施工後の必要な性能として、以下の項目について継続的な評価を行う。

性能評価検証項目	具体的な検証方法	測定項目	測定方法	備考
流入水質	流入水質の測定	水温 pH	「下水の水質の検定方法等に関する省令」及び「下水試験方法」による	水質測定値と流量との関係を把握する
		BOD SS	同上	
		流量	流量計による測定	
放流水質	放流水質の測定	水温 pH	「下水の水質の検定方法等に関する省令」及び「下水試験方法」による	水質測定値と流量との関係を把握する
		BOD SS 大腸菌群数	同上	
		流量	流量計による測定	

参考 「下水道法施行令の改正に伴う下水道事業計画の認可の運用について（平成16年3月29日国都下事第530号）」における評価3にもとづく評価項目

性能評価検証項目	具体的な検証方法	測定項目	測定方法	備考
流入水質	流入水質の測定	水温 pH BOD SS	「下水の水質の検定方法等に関する省令」及び「下水試験方法」による	流入水量は設計値の1/2以上
放流水質	放流水質の測定	水温 pH BOD SS	「下水の水質の検定方法等に関する省令」及び「下水試験方法」による	

9 概略の工程

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
設計	—				—			—		
施工		—			—			—		
供用開始		★			★			★		
検証				—			—			—
系列		1系列			2系列			3系列		

10 技術的支援

